

漢方診療センター

【はじめに】

医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和 4 年度改訂版）では、「漢方医学の特徴、主な和漢薬(漢方薬)の適応、薬理作用について概要を理解している。」という目標が挙げられている。この点を鑑み、講義では、漢方医学的な考え方やそれに基づく処方、及び注意すべき副作用について学ぶ。また外来見学を通し漢方医学的診察方法についての理解も深める。また本来、漢方医学が湯液・鍼灸・推拿を含むものであることを理解するため、鍼灸についても体験・学習を行う。

【実習目標】

一般目標：

- ・標準的な検査や治療を踏まえたうえで、漢方薬が有用な場合、また逆に不得手とする場合を理解し、臨床現場で漢方薬の処方例を理解する。

到達目標：

- ・気・血・水（津液）の概念を理解し、説明できる。
- ・基本的な漢方薬（方剤）の名称を述べる事が出来る
- ・舌診、脈診、腹診などの特徴的な漢方医学的診察方法が行われていることを理解する。

【担当教員】

漢方診療センター 医師および鍼灸師

【集合場所と集合時間】

臨床研究棟 1 階 総合内科・総合診療科 101 セミナー室（漢方診療センター医局）

水曜日朝 8 時 25 分までに集合・着席しておいてください。

【評価方法】

出席、遅刻、実習態度、積極性を学生担当医が総合的に評価し、60 点（100 点満点）以上を合格とする。事前知識は問わない、積極的な質疑応答を重視する。

【実習内容（例）】

8:30-9:00	朝礼、オリエンテーション
9:00-10:00	緩和ケアカンファレンス見学
10:00-12:00	漢方外来見学
13:00-14:15	漢方医学講義
14:30-16:00	鍼灸実習
16:00-17:00	カンファレンス

【注意事項】

- ・身だしなみを整え（清潔な白衣・ケーシー）、患者さんに失礼のないよう、留意してください。外来見学中の私語や態度は十分注意してください。
- ・ネームプレートは必ず胸につけて実習に臨んでください。
- ・体調不良などやむを得ず休む場合は必ず班員ならびに下記連絡先（秘書または学生担当医）へ連絡してください。

【連絡先】

漢方診療センター

外線 082-257-1921

秘書 玉田佳奈

内線 4381 tamadakk@hiroshima-u.ac.jp

学生担当医 濱浪嘉登

内線 3527 hamanami@hiroshima-u.ac.jp

遺伝子診療科



【実習目標】

1. 人間の持つ多様性を尊重し、また配慮した臨床遺伝医療のあり方を学習する。
2. 遺伝学的診察と遺伝学的検査、およびその解析と臨床学的意義付け方法について体系的に理解する。
3. クライアントとその家族の自律的決定をサポートするための方法として、遺伝カウンセリングを理解する。

【具体的到達目標】

1. ゲノムの多様性に基づく個体の多様性を説明できる。
2. 単一遺伝子疾患の遺伝様式を説明し、代表的な疾患を列挙できる。
3. 家系図を作成し、リスク評価ができる。
4. 生殖細胞系列バリエントと体細胞バリエントの違いを説明でき、遺伝学的検査の目的と意義を概説できる。
5. 遺伝情報の特性(不変性、予測性、共有性、あいまい性)を説明できる。
6. 遺伝カウンセリングの意義と方法を説明できる。
7. 遺伝医学関連情報(公的データベースなど)にアクセスすることができる。
8. DNA 配列決定を含むゲノム解析技術を概説できる。
9. 遺伝子検査の目的と適応を説明し、結果を解釈(アノテーション)できる
10. がんの原因や遺伝子変化を説明できる。
11. がんゲノム医療におけるゲノム情報の解析、臨床的意義づけ、二次的所見について説明できる。

【評価方法】

評価項目	配点
指導医による学生の行動内容評価	30点
出欠・遅刻	20点
アノテーション実習	30点
理解度チェックのための口頭試問	20点
計	100点

【実習内容】

1. 遺伝子のバリエント(変化)の病的意義の判定(アノテーション)を実習で学ぶ。
2. 遺伝学的診察、検査を行うための遺伝外来、Germline board を見学する。

3. 家系図の見方、書き方を学び、遺伝的リスクを推定する。
3. がんゲノム医療拠点病院におけるがんゲノムプロファイリング (CGP) 検査の結果を検討するエキスパートパネルを見学する。

【実習の概要と集合場所】

火曜日 8:30 に遺伝子診療科外来(診療棟 1 階 103)に集合

【実施場所】

- 家系情報から遺伝的リスクを推定、遺伝学的検査の結果検討、Germline board の見学:診療棟 1 階 103 遺伝カウンセリング室
- アノテーション実習:臨床管理棟 3 階 バイオバンク管理室 (大会議室の隣)
- エキスパートパネルの見学:診療棟5階 カンファレンス室 1-2

※火曜日 8:30 からのカンファレンスの終了後、オリエンテーションを行う。不明点等はオリエンテーションの際に確認すること。

【実習にあたり特に理解しておくべき疾患・キーワード】

遺伝性疾患における常染色体顕性遺伝(優性遺伝)、常染色体潜性遺伝(劣性遺伝)、X 連鎖遺伝など

バリエントの種類と解釈:体細胞バリエントと生殖細胞系列バリエント

固形がん:代表的ながん関連遺伝子とその特徴(がん遺伝子:KRAS、がん抑制遺伝子:TP53)

遺伝性腫瘍症候群:遺伝性乳癌卵巣癌・HBOC(BRCA1/BRCA2)、リンチ症候群(ミスマッチ修復遺伝子)など

【実習日程】

以下は標準的な週間スケジュールであり、指導医の勤務上の都合や日祝日等の関係で変更することがあります。

火	8:30	●症例カンファレンスの見学
	9:00	●オリエンテーション
	9:30	●アノテーション実習
	13:00	●遺伝子関連検査・ゲノム解析などの見学
	13:30	●Germline board の見学
	14:00	●遺伝カウンセリングの実習(症例がある場合)
	16:00	●エキスパートパネルの見学

【担当教員】

役職	氏名	所属
教授	檜井 孝夫	遺伝子診療科
准教授	Nelson Hayes	消化器内科学
教務担当指導医	新津 宏明	遺伝子診療科
特任学術研究員	中原 輝	遺伝子診療科
認定遺伝カウンセラー	利田 明日香	遺伝子診療科

【教務担当者 連絡先】

新津宏明 PHS 4380 (hniitsu@hiroshima-u.ac.jp)

中原 輝 PHS2437 (hkhr@hiroshima-u.ac.jp)

檜井孝夫 (thinoi@hiroshima-u.ac.jp)

病気などで連絡の際は 082-257-5965(遺伝子診療科受付)または 082-257-2019(医局)まで電話すること。(平日 9:00～17:00)



医療安全管理部

【実習目標】

1. 安全で質の高い医療を実践するための視点を学ぶ。
2. 医療安全管理体制について学ぶ。
3. 医療行動の多職種連携を経験する。
4. 学習内容は医学教育モデル・コア・カリキュラムに沿う。

【具体的到達目標と評価方法】

評価項目	配点
指導医による実習行動の評価（5段階）	50
出席	50
計	100

【実習内容】

当院医療安全必須研修で利用した資料を聴講する。

患者安全に関する報告システム(インシデントレポート等)について学ぶ。

基本的予防策(誤認対策、薬剤の確認等)が現場で実践されていることを経験し、学ぶ。

多職種の協働によって、エラーが未然に防がれていることを学ぶ。

複雑適応系システムにおいて有効な対策を立案するための方法論を学ぶ。

【実習の概要と集合場所】

医療安全管理部(管理棟1階)

【実施場所】

各病棟、外来、検査室等

※**金曜日** 9:00 より医療安全管理部にてオリエンテーションを行う(金曜日が祝日の場合は木曜日 9:00 より行う)。不明点等はオリエンテーションの際に確認すること。

【実習日程】

以下は標準的な週間スケジュールであり、指導医の勤務上の都合や日祝日等の関係で変更することがあります。

金	9:00	オリエンテーション
	9:30	病棟実習
	11:00	ディスカッション

【注意事項】

患者、職員に関する個人情報、守秘義務を守ること。

【担当教員】

役職	氏名	所属
教授・部長	伊藤英樹	医療安全管理部
医師 GRM	渡谷祐介	医療安全管理部
看護師 GRM	右近清子	医療安全管理部
看護師 GRM	仲田幸子	医療安全管理部
薬剤師 GRM	嶋田江理嘉	医療安全管理部

【教務担当者 連絡先】

伊藤 (itohhide@hiroshima-u.ac.jp)

病気などで連絡の際は 082-257-5373 まで電話すること。(平日 9:00～17:00)